

産業振興

農業の日照時間対策を

ヒートポンプで実証実験



議員 矢野 昭三

問 農業生産は日照時間の長短及び温度の高低等による成長量に差がある。経費や販売額に大きな差が発生する。この課題に対する姿勢を問う。

御技術の導入に要する経費などの補助を行って。収益性の高い農業への支援を目指していきたい。

脱炭素先行地域の事業として公社で実証実験ヒートポンプを入れて。採算がとれるか調べている。有効であれば全町的な展開になる。

問 魚の水揚げについて様々な質問があったがその対策は十分達成したか問う。

答 今西 海洋森林課長

町内漁港の水揚げに対する手数料への1%補助を令和5年度まで継続実施。

また燃料対策として町内で給油を行う船舶燃料に対し定額の補助を実施。

答 松本町長
通年で天候や外気温の影響を低減でき、路地野菜と比べて品質や生産量が安定し、出荷時期もコントロールしやすい施設園芸を推進している。
ハウスの補強や施設整備に要する経費、環境制

さらに町内53漁業経営体に価格高騰時の補填に関する個人負担の4分の1補助を実施。

種苗放流は、平成29年度以降続けているイセエビを狙いとした鉄鋼漁礁の整備、赤アマダイ稚魚放流等の取り組みを実施。イセエビは令和元年比1.4倍、赤アマダイ1.7倍の成果があった。

令和6年9月漁業組合員数257名、準組合員数522名、計779名令和3年比37名増。引き続き漁業就労者の確保に努める。

交通安全

不破原の安全対策 今後も取り組む

問 不破原集落内の国道56号の交通安全は住民を始め多くの人々の命や生活を守るための重要な課題であるが、どのような対策を行ったか問う。

答 河村地域住民課長

交通事故は令和4年度5件、令和5年度6件、今年も4件発生している。現時点で規制や改善等の対策が来ているものはない。不破原地区から要望について交通安全佐賀分会長、指導員会長、中村警察署交通課とも協議を行ってきた。

自動速度取り締まり装置の設置及び追い越し禁止車線への変更について前向きな回答は無かったが、交通安全啓発のため高齢者訪問、白バイによるパトロール等の取り組みは、今後も継続して行うとのこと。

地域振興

土佐西南公園 整備は調整し前進

問 買収済の土地を施設用地に造成し、速やかな活用が「住民の福祉の増進」。どのような姿勢で取り組んだか問う。

答 秋森産業推進室長

佐賀地区にある東公園を、防災面に配慮した多目的広場をかさ上げし、屋内運動場の整備については、土佐西南大規模公園建設促進同盟会から要望をしている。



屋内運動場整備を要望中の東公園

現在佐賀地区において事前復興まちづくり計画を策定中であり、調整を図りながら進める。
【その他の質問】
・南海トラフ地震について